



本村幼稚園 6月の園だより

令和7年5月30日 港区立本村幼稚園長 山崎 高志

最後の合同運動会での応援ありがとうございました

園長 山崎 高志



5月24日(土)の本村幼稚園と本村小学校の合同運動会では保護者の皆様、地域の皆様に応援していただき誠にありがとうございました。皆様のご協力のおかげで園児たちが元気いっぱい演技・競技することができました。これまでの保護者の皆様のサポートにあらためて感謝を申し上げます。

最後の合同運動会ということで、園児の退場時には会場から大きな拍手をいただき、園児たちにとっても思い出に残る充実した合同運動会になりました。

【幼児期のけんかは日常茶飯事で】

小学校に入る前の幼児にとって、けんかは日常茶飯事です。けんかを通して、コミュニケーション能力を高めています。ただ、大人は子供同士のトラブルが起きた際、ついどちらが悪いのかを決めがちになります。例えば、遊び道具の取り合いがあると、どちらの子が取ったのかに目が行きがちですが、取ったように見える方が実は取り返していたということもあります。お互いの話を聞いたうえで「こうしたら」という提案をすると、子供自身も話し合うようになります。また、子供同士の仲直りはとっても速いです。悪いことをした子が「ごめんね」と言い、泣いていた子が「いいよ」と言ったら、おしまいです。大人にはまねできない子供の特権です。

【動物園への遠足】

5月29日(木)、金色のバスに乗って歌を歌いながら上野動物園に行ってきました。子供を動物園に連れていく理由は、子供が喜ぶから、楽しそうだから、動物が好きだからなど様々ありますが、実は子供たちにとってたくさんのメリットがあります。例えば、子供向けの絵本には、動物がモチーフとなっているキャラクターが数多く登場します。イラストやストーリーを楽しむことはできるものの動物特有の匂いや動きまでは体験できません。動物園で本物の動物を見えるということは、生態を学べるだけではなく、子供の五感をフルに働かせ、非常に刺激的な体験になります。また、動物園に行けば、絵本やテレビで見たことのある動物に出会えます。「あの動物は絵本でみたことある?」「体の色は何色かな」など動物を見ながら会話を楽しむことでコミュニケーションをとることができます。さらに、動物を見て自分と同じように生きている身近な存在に感じる事が将来の動物保護への気持ちにつながります。

当日、本村幼稚園の子供たちも、見たかったパンダやゴリラやコウモリやアザラシに会えて喜ぶと同時に、本物の動物の動きやにおいに興味をもち、いろいろな発見をすることができました。